

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	松戸市家庭教育支援チーム (呼称: 特定非営利活動法人子どもとまつど) URL: <a href="http://kodomotto-matsudo.com/">http://kodomotto-matsudo.com/</a>
活動開始年度	1974年10月(昭和49年10月)
活動拠点	千葉県松戸市内の市民センター、市民会館、市民劇場、公園など
活動範囲	千葉県松戸市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (各事業の活動計画を策定し、子どもゆめ基金や年賀寄附金配分事業などの助成を受けて活動しています)
組織体制	理事 5名(現まつど NPO 協議会理事長、現子ども読書推進センター職員、元松戸市立図書館職員、元銀行員、元子育て支援経験者) 監事 2名(元会社員、出版関係者) 事務局 1名(元会社員) 活動会員 15名(主に松戸子ども劇場会員) 旧称: 松戸子ども劇場の役員と会員で構成されております。
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  2016年度の活動実績 <b>【自然体験・ものづくり体験】</b> ・子ども自然・アート体験教室 全6回(6月～12月) ・夏休み・冬休み科学教室 全3回(7月×2回・1月) ・なつやすみアートひろば(8月) ・食育講座「作ってみよう! 私のおべんとう」全4回(10月～12月) ・日本の話芸を体験しよう 全24回(通年) ・キッズ陶芸教室(松戸青少年会館 講師派遣) ・落語体験教室(松戸青少年会館 講師・スタッフ派遣) ・母の日びっくり作戦! お父さんとケーキをつくろう(松戸青少年会館 講師・スタッフ派遣) ・お父さんをつくろう! 手打ちうどん(松戸青少年会館 講師・スタッフ派遣)

【子どもの時こそ大切な障がい者との交流事業】

- ・障がいを持つ講師によるお菓子づくり「私もパティシエ？」全3回(8月9月3月)
- ・手話体験講座「耳が聞こえないってどんなこと？」全2回(8月・3月)
- ・目が見えないってどんなこと？ 全5回(7月・10月×2回・11月・3月)

【乳幼児の親子の子育て支援】

- ・おやこの広場・るーぷる (毎月第1・第3水曜日)
- ・編み物サークル「ママあむ」(毎月第2・第4金曜日)

【舞台・芸術鑑賞事業】

- ・松元ヒロソロライブ 2月
- ・人形劇団むすび座公演 人形劇「ピノキオ」

【地域との協働事業】

- ・宿題寺子屋～じいちゃんと宿題をし遊ぼう～ 毎週土曜日
- ・黄色いハンカチ～交流サロン～ 東日本大震災復興支援プロジェクト  
毎週 火・水・木曜日
- ・松戸・東松島子ども交流プロジェクト

【自然体験・ものづくり体験】



(子ども自然アート体験教室)



(作ってみよう！私のお弁当)



(なつやすみアートひろば)

【子どもの時こそ大切な障がい者との交流事業】



(私もパティシエ？)



(耳が聞こえないってどんなこと)



(眼が見えないってどんなこと)

【乳幼児の親子の子育て支援】【舞台・芸術鑑賞事業】



(おやこの広場・るーぷる)



(人形劇 ピノキオ)



(松元ヒロソロライブ)

<p><b>活動の成果</b></p>	<p>子育て支援事業(1 事業)・子どもの体験事業(14 事業)・舞台鑑賞とワークショップ事業(3 事業)を主な事業として展開しています。</p> <p>2016 年度の単年度実施事業と参加者は、①子育て支援事業 参加述べ 384 名 ②子どもの体験事業 参加述べ 2,259 名 ③舞台鑑賞・ワークショップ事業 参加述べ 994 名となっています。</p> <p>子どもたちの自主自立性を尊重しながら、色々な体験活動や様々な人とのふれあいの場、芸術にふれあうことなど、これまで団体が培った経験と講師や他団体の協力と連携により、充実した企画の提供や人材の確保が来ています。そして、参加した子どもばかりではなく、保護者、スタッフ、ボランティアと一緒に活動の促進を図ることで、社会全体の活動への理解につながり、私たちが目指す「子どもの生き生きとした姿」を地域社会で支える活動に繋がっていくと考えて取り組んでいます。</p>
<p><b>活動において苦労した点や課題</b></p>	<p>各活動を広く認知してもらうために、各活動のパンフレットを作成し、活動への理解を広報しています。また、他団体や行政のフェスティバルや催し物などに積極的に参加協力することで、事業内容の理解を求めています。その結果、以後、実行委員会に参画するなど継続的な活動に繋がっています。また、活動を継続するためには担い手の育成が大切です。ことあるごとにボランティアの参加をもとめ、オリエンテーションと企画の段階からの参画を大切に取り組んでいます。</p>
<p><b>今後の活動目標</b></p>	<p>地域に根付くためには、これらの事業の実績をベースに子ども関連団体及び関連施設、グループ、個人に向けてのアウトリーチ事業へ展開することが重要だと感じています。例えば、障がい者のお菓子づくり教室は、他NPO法人への出張事業をすでに展開しており、出張先でも同事業を共同で継続開催を行いたい旨の提案があります。また、当初は、小さな落語講座から始まり、継続したいという子どもと保護者の意志によりサークル化。そして、定期練習と座・子ども寄席として老人ホームや福祉施設への訪問活動と広がりを見せています。</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>(部署・氏名等)事務局 ・ 駒口雅彦(こまぐちまさひこ)  (TEL)047-344-2272 (E-mail) npo-mkg@cd.wakwak.com</p>